

浸水対策工事



平成18年に発生した局地的大雨により、中桜塚、南桜塚、曾根、原田元町周辺でも家屋の床上浸水等、重大な被害が発生しました。

この工事はそのような浸水被害を軽減するため、シールド工法により下水道管を埋設する工事で、平成30年度の完成をめざしています。

平成25年度に中央公民館前から国道176号までが完成し、萩の寺公園から中央公民館までを平成27年度までに整備する予定です。

公園の一部が使用できない等、工事期間中は何かと不便をおかけしていますが、工事へのご協力よろしくお願いいたします。

施工箇所位置図



シールド工事ってなに？

トンネル工事の一つで、地盤が崩壊しないよう、少しずつシールドマシンで地中を掘削し、セグメント(トンネルの外壁)を組み立てながら、掘り進めていく工法です。

この一連の作業を繰り返すことで、地中に長くて大きな下水道管を埋設します。地中を機械で掘り進むことから、道路への影響が少なく、交通への不便も少なくて済みます。



シールドマシン

施工フロー

発進立坑築造作業

既設埋設管があり土留め壁が設置できない部分を地中にて固め土留め壁を作る工法です

地盤改良

シールド作業

防音ハウス

残土搬出

シールド工事で発生する騒音を防音ハウスにて低減します
組み立てた管(セグメント)をシールドマシン

豊中市浸水ハザードマップ

河川がはんだした場合(洪水)、下水道が溢れた場合(内水はん濫)、地震時の津波により河川が溢れた場合を想定した豊中市浸水ハザードマップを作成しました。

市役所や上下水道局等で無料配布をしています。(市HPにおいても公開しています。)是非ご利用ください。

ハザードマップの問い合わせ

- 危機管理課 ☎6858-2683 FAX6858-2667
- 下水道建設課 ☎6858-2955 FAX6846-5830

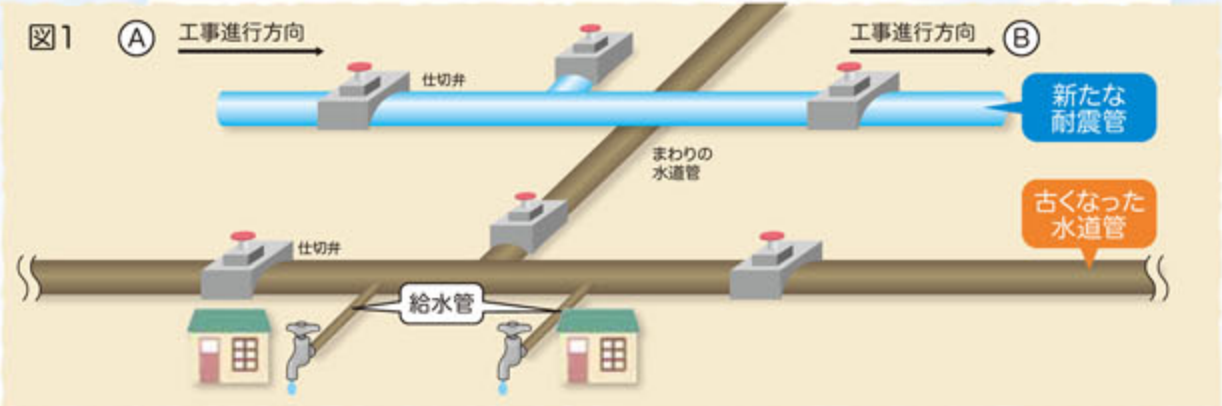


ご迷惑をおかけしています。

上下水道局では古くなった水道管を計画的に耐震管に取り替えています

市内の水道管を地震などの地盤の揺れに強い水道管に取り替えています。

- 水道管の取り替えは、
- ① 新しい管を古い管の近くに埋める
 - ② 新しい管とご家庭の給水管をつなぐ
 - ③ 古い管を取り除く
- という手順で行っています。(図1.2)



また、工事期間中は、仮舗装をします。これは対象となる範囲の工事がすべて完了するまで、工事場所を移動しながら、掘って埋め戻す手順を繰り返しながら作業を進めるからです。工事時間以外に人や車はその道路を安全に通れるようにするためでもあります。

水道管の取り替え工事は、毎日の生活に不便をおかけする時間をできるだけ短くするため、少しずつ進めていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

配水池の耐震化も進めています

豊中市には6か所に配水池があります。地震や災害の時にはこれらの池は給水拠点となり、断水した地域へ水を届けるためのタンク車への補給場所にもなります。災害時の被害を最小限にするためには、配水池の補強工事を行い、同時に長寿命化も図っていかねばなりません。

現在の豊中市の配水池の耐震化率は、51.9%です。平成31年度までに100%をめざして、現在は寺内配水池を工事しています。